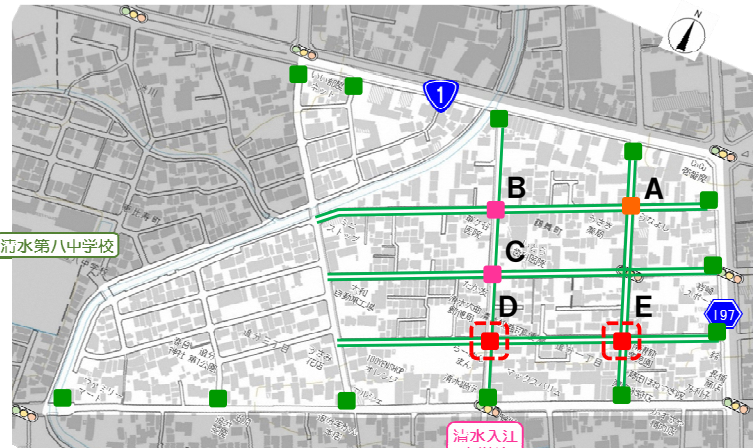


4 入江西地区の対策状況・今後の方針

入江西地区においては、H29年に交差点ハンプを本格設置し、ゾーン30強調やグリーンベルトといった対策を実施しました。交差点ハンプは段階的に設置を進め、R1年に2箇所を追加設置し、今年度2箇所の設置をもって入江西地区の対策は完了を予定しています。



交差点ハンプ: ■ H29対策箇所 ■ R1対策箇所 ■ R2予定箇所
■ ゾーン30の強調(H29年) — グリーンベルト(H29+H30)

R1対策状況 交差点ハンプ



H29対策状況 交差点ハンプ



ゾーン30強調・グリーンベルト



R2予定箇所 交差点ハンプ



5 入江地区協議会終了のお知らせと今後について

令和2年7月に実施した協議会にて、入江東地区の追加対策の承認が得られたことから、入江地区協議会は終了とさせていただきます。入江地区の対策状況ならび追加対策の効果については、引き続きニュースレターを通して発信させていただき予定です。

また、入江西地区および入江東地区で得られた知見を活かして、静岡市内の他の地区の生活道路対策を推進し、みなさまにとって身近な道路がより安全で安心な環境となるよう、整備に取り組む予定です。



静岡市建設局道路部
道路保全課 交通安全施設係
TEL 054-221-1284



国土交通省
中部地方整備局 静岡国道事務所
Shizuoka National Highway Office

国土交通省 中部地方整備局
静岡国道事務所 管理第二課
TEL 054-250-8907

NEWS LETTER Vol.8

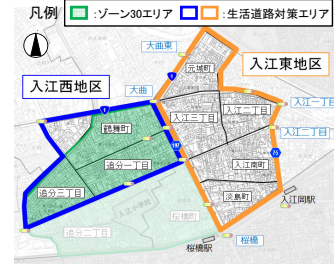
令和2年
9月発行



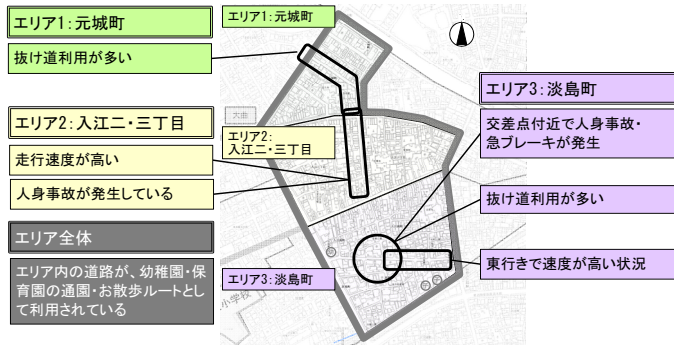
1 入江東地区にて社会実験を実施しました

第7回協議会(令和元年5月開催)にて議論した入江東地区の交通課題及び対策内容について、対策を仮施工し、社会実験を実施しました(令和元年12月~令和2年3月)。

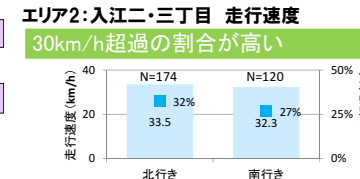
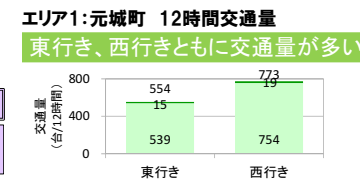
社会実験中に交通動態調査や対策に関するアンケート調査を実施し、対策の効果や課題を確認しました。



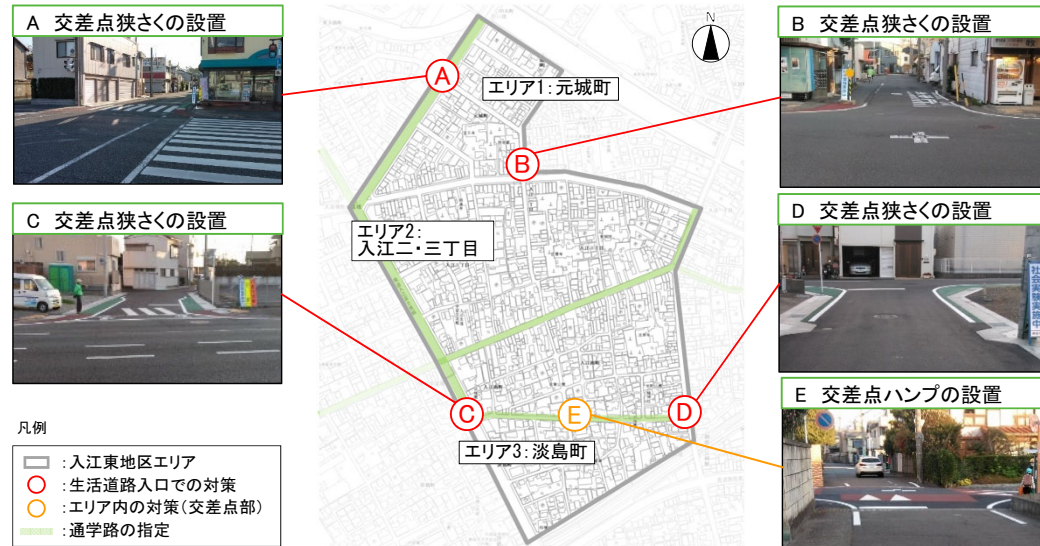
1 入江東地区の主な交通課題



交通動態調査結果(R1年5月)



2 社会実験内容



凡例
 : 入江東地区エリア
○ : 生活道路入口での対策
○ : エリア内の対策(交差点部)
— : 通学路の指定

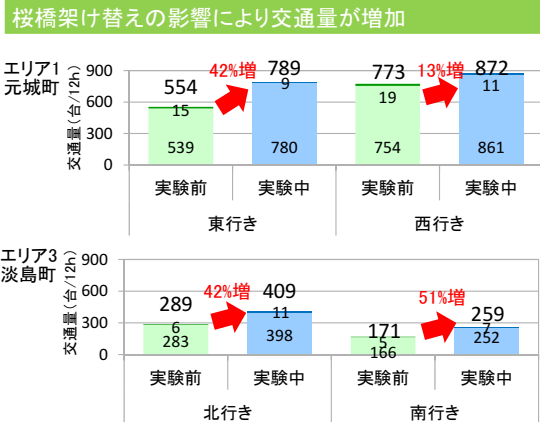
社会実験の結果

社会実験の効果を把握するために、ビデオ撮影調査、アンケート調査を実施しました。調査の結果、一部の方向で走行速度の低下や地区のみなさまの意識・行動の変化がみられました。一方で、桜橋架け替えにより交通量や走行速度が増加したこと、地区の課題が解決されていないなど意見を踏まえ、追加対策の必要性を確認しました。

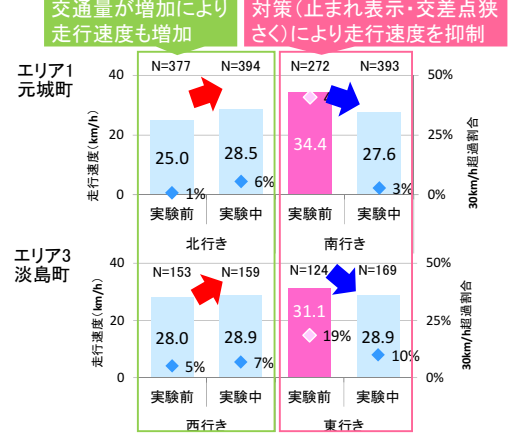
調査の内容

- ビデオ撮影調査：交通量・走行速度の変化、交差点狭く通行時の左折車の交通状況を把握
- アンケート調査：個別対策の効果、地区全体の効果について質問
(自治会、入江東地区在住、未就学児施設就業者の方を対象)

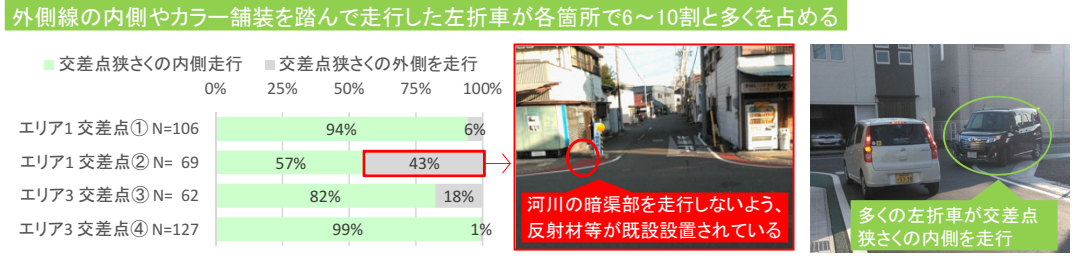
交通量の変化



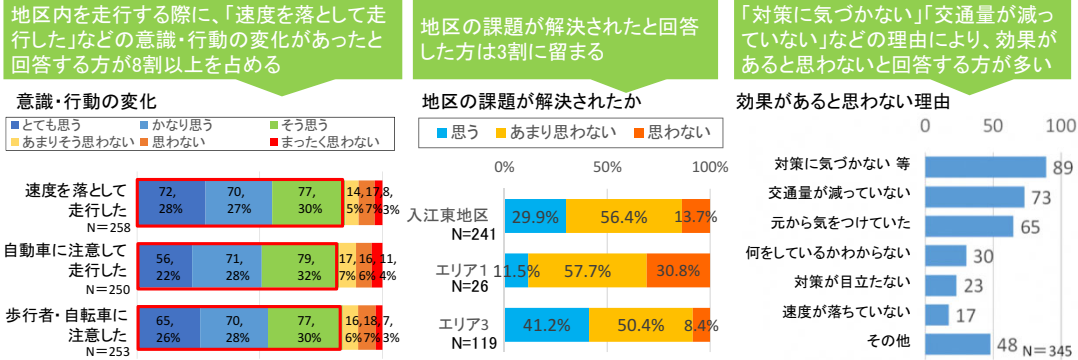
走行速度の変化



左折車の交差点狭く部の走行位置



アンケート調査結果



2 第8回入江地区生活道路安全協議会(7/27)を開催しました

協議会の開催にあたり、事前にアドバイザーである埼玉大学・小嶋准教授に意見照会を行い、社会実験の結果から追加対策の必要性を確認しました。

協議会では、小嶋准教授の意見を踏まえ、社会実験の結果や残存する課題、検討した追加対策(案)について議論しました。議論の結果、追加対策実施について承認いただきました。今後は実施に向けた、検討・関係者協議を進めて参ります。

- (埼玉大学・小嶋准教授意見)
- 桜橋の工事の影響の抜け道により、交通量が増加してしまうタイミングで対策を実施できたのは、**影響を緩和する上で良かった**と思います。
 - 交差点の狭さについては、自動車の速度抑制をはかるとともに、歩行者のたまり空間としても利用されており、**ボールの追加は狭さの実効性を高めるもの**となります。
 - 単路部で互い違いの狭さについては、高い効果が期待できますが、もともと規制速度を守って通行している方々にも、これまでと異なるハンドル操作をお願いすることになります。**

- (協議会の主な意見)
- 交差点狭くへのポストコーンの設置は車両が正しく走行するなど効果が期待できる。
 - 国道1号との交差部はベンガラ色で実施されているが目立たないため、**グリーンベルトと同じ色にそろえていただきたい。**
 - 単路部への狭さの設置について、**3mと狭幅員になる箇所では交互通行ができなくなるため、渋滞や交通事故などの悪影響を考慮した検討が必要。**
 - ランプは効果が期待できるため、今後も増やしてほしい。**
 - 道路幅員が狭く通行しにくいことがこの地域の課題。**電柱を民地側へ移設して幅員を広げることはできないか。**



3 入江東地区の今後の予定

協議会の結果を踏まえ、交差点狭くの強化(ポストコーン設置)による通過交通の抑制や、単路部狭く、車線の狭幅員化・グリーンベルトの設置による車両の走行速度の抑制といった対策を推進します。

交差点狭く強化(ポストコーンの設置)

単路部狭くの設置

車線の狭幅員化(センターライン消去)・グリーンベルトの設置

○ : 交差点狭く強化(ポストコーンの設置)
 ■ : 単路部狭く
 ● : グリーンベルト設置
 ● : カーブミラー設置